

平成 30 年度

大学リーグやまぐち主催事業・事業報告書

《平成 30 年度実施事業》

	No	事業名	ページ
県内進学	①	フェア等におけるブース出展	1
	②	「2018 山口県オープンキャンパスマップ」及び 「山口県県内進学ガイドブック 2019」の作成・配布	2
	③	県内進学・仕事魅力発信フェアの開催（共催）	3
	④	SNSによる県内大学等の魅力発信	4
	⑤	やまぐち学生サポート事業	5
	⑥	インフォメーションスタンドの活用	6
	⑦	出前講義の実施	7
	⑧	ムーブマン・ネオとの連携	8
県内就職	⑨	山口きらめき企業の魅力発見フェアとの連携	9
地域貢献等	⑩	地域や企業との連携促進	10
	⑪	FD研修会（全学FD・SD講演会）	11
	⑫	大学マネジメントセミナー2018 in やまぐち	12
	⑬	山口県大学ML（博物館・図書館）連携特別展	13
	⑭	「夏休みこども塾」の開催	14



平成30年度大学リーグやまぐち主催事業・事業報告書

事項	県内大学等の魅力発信			
事業名称	フェア等におけるブース出展			
主催	大学リーグやまぐち (担当：県学事文書課)			
担当者	(所属・職名)	県学事文書課 大学班 主査	(氏名)	加藤 進哉
[連絡先]	083-933-2140	(E-mail: a10400@pref.yamaguchi.lg.jp)		
共催・後援等 (協力体制)	—			
事業の趣旨 ・目的等	各種フェアにおいて、「大学リーグやまぐち」のブースを出展することにより、県民や県内高校生等に対して周知を図り、若者の県内進学等を促進する。			
事業の内容	<p>以下のイベントにブース出展し、高校生等にPRを行う。</p> <p>1 やまぐち産業維新展 日時：平成30年9月17日(月・祝)、18日(火) 場所：山口きらら博記念公園多目的ドーム</p> <p>2 全国産業教育フェア 日時：平成30年10月20日(土)、21日(日) 場所：山口きらら博記念公園多目的ドーム</p>			
事業実施のための 必要経費	経費項目(積算内訳含む)	員数	単価	金額
	やまぐち産業維新展出展料			10,000
	第28回全国産業教育フェア山口大会出展料			50,000
	計			60,000
実施結果	<p>【平成30年度の実績】</p> <p>《やまぐち産業維新展》 * 平成30年9月17～18日 山口きらら博記念公園多目的ドーム ⇒ 高校生や保護者等約140名に対して、県内進学ガイドブック及び大学案内を約200冊配布し、県内大学の魅力等をPR</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>《全国産業教育フェア》 * 平成30年10月20～21日 山口きらら博記念公園多目的ドーム ⇒ 高校生や保護者等約70名に対して、県内進学ガイドブック及び大学案内を約90冊配布し、県内大学の魅力等をPR</p> <div style="text-align: right;">  </div>			

平成30年度大学リーグやまぐち主催事業・事業報告書

事項	県内進学促進			
事業名称	「2018山口県オープンキャンパスマップ」及び「山口県県内進学ガイドブック2019」の作成・配布			
主催	山口県 県内進学・仕事魅力発信協議会（担当：県学事文書課）			
担当者	（所属・職名） 県学事文書課 大学班 主査		（氏名） 加藤 進哉	
[連絡先]	083-933-2140		(E-mail: a10400@pref.yamaguchi.lg.jp)	
共催・後援等 （協力体制）	（協議会構成員）①県私立大学協会、②県専修学校各種学校協会、③大学リーグやまぐち、 ④県高校教育課、⑤県学事文書課			
事業の趣旨・目的等	県内大学等の「魅力」や「良さ」について県内高校生の理解を深め、県内大学等への主体的な進路選択につなげることで、県内進学促進を図る。			
事業の内容	<ol style="list-style-type: none"> 2018山口県オープンキャンパスマップの作成・配布 <ul style="list-style-type: none"> 内容：県内大学、専門学校等のオープンキャンパス情報が掲載されたマップの作成・配布 部数：48,000部（高校全学年に配布） 時期：6月上旬 山口県 県内進学ガイドブック2019の作成・配布 <ul style="list-style-type: none"> 内容：県内大学、専門学校等を紹介する冊子の作成・配布 部数：27,000部（高校2年生に配布） 時期：2月中旬 			
事業実施のための必要経費	経費項目（積算内訳含む）	員数	単価	金額
	協議会負担金（18機関×20,518円）	18	20,518	369,324
	計			369,324
実施結果	<p>「2018山口県オープンキャンパスマップ」については平成30年6月1日付けで、「山口県 県内進学ガイドブック2019」については平成31年2月13日付けで、各公私立高校等に配布するとともに、インフォメーションスタンドへの配架等により広報活動を行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

平成30年度大学リーグやまぐち主催事業・事業報告書

事項	県内進学への促進			
事業名称	県内進学・仕事魅力発信フェアの開催（共催）			
主催	県内進学・仕事魅力発信フェア実行委員会（担当：県学事文書課）			
担当者	（所属・職名）	県学事文書課 大学班 主査	（氏名）加藤 進哉	
[連絡先]	083-933-2140	(E-mail: a10400@pref.yamaguchi.lg.jp)		
共催・後援等 （協力体制）	（実行委員会構成員）①県私立大学協会、②県専修学校各種学校協会、 ③大学リーグやまぐち、④県高校教育課、⑤県学事文書課			
事業の趣旨 ・目的等	県内高校生を対象に、県内の大学や専門学校、さらには県内企業や仕事の魅力を伝え、それぞれの魅力を再認識してもらうことにより、県内進学・県内就職を通じた地域産業を支える人材の育成や若者の県内定着の促進を図る。			
事業の内容	<p>1 概要 「学校案内」、「学校体験」、「仕事紹介」、「仕事体験」、「企業紹介」、「進路相談」などのコーナーを設置し、高校1・2年生等が将来の進路について考え、進学や適職を発見するためのイベントを開催する。</p> <p>2 対象 主に県内の高校1・2年生</p> <p>3 出展内容 (1) 学校案内 (県内大学、短期大学、専修学校・各種学校の学校紹介及び入学相談) (2) 学校体験 (大学や学校での講義・研究発表や実習を通じた模擬入学) (3) 仕事紹介 (仕事のプロから、やりがいや楽しさ、魅力など経験談を聞く) (4) 仕事体験 (仕事の内容を実際に体験し、イメージや適性を肌で感じる) (5) 企業紹介 (県内企業から業務内容や仕事の話聞く) (6) 進路相談 (仕事に就くための進路や必要な資格・免許等についての相談) (7) その他 (学校魅力発信等)</p>			
事業実施のための 必要経費	経費項目（積算内訳含む）	員数	単価	金額
	—	—	—	—
	計			—
実施結果	<p>【平成30年度の実績】</p> <p>《開催日時等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：平成31年2月14日（木） 10:00～15:00 ・場 所：維新百年記念公園 スポーツ・文化センター ・参加者数：県内の高校1・2年生等 1,878人 ・出展企業数等：73団体（大学、専修学校、企業、自治体等） <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			

平成30年度大学リーグやまぐち主催事業・事業報告書

事項	県内大学等の魅力発信			
事業名称	SNSによる県内大学等の魅力発信			
主催	大学リーグやまぐち (担当：県学事文書課)			
担当者	(所属・職名) 県学事文書課 大学班 主査		(氏名) 加藤 進哉	
[連絡先]	083-933-2140		(E-mail: a10400@pref.yamaguchi.lg.jp)	
共催・後援等 (協力体制)	—			
事業の趣旨 ・目的等	若者の県内進学等を促進するため、県内高校生や大学生に対して、SNS等を通じて、県内大学や県内企業等の魅力を発信する。			
事業の内容	<p>大学のイベント情報やキャンパスライフなど、大学の「魅力」や「特色」を紹介する。 (掲載(例)：オープンキャンパスや学園祭のPR、ムーブマン・ネオの収録等)</p> <p><活用するSNS></p> <p>① ツイッター (https://twitter.com/leagueyamaguchi) 「ツイート」と称される140文字以内の短文の投稿</p> <p>② インスタグラム (https://www.instagram.com/leagueyamaguchi) 無料の画像共有ソフト。デジタル画像を撮影、編集し、SNSで共有</p> <p>③ LINE@ (https://line.me/R/ti/p/qxQmv2RzRJ) プッシュ通知や自動返信が可能</p> <p>④ Facebook (https://www.facebook.com/leagueyamaguchi/) 実名での登録・現実の知り合いとインターネット上でつながるサービス</p> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;">     </div>			
事業実施のための 必要経費	経費項目 (積算内訳含む)	員数	単価	金額
	—	—	—	—
	計			0
実施結果	<p>【平成30年度の実績】</p> <p>《投稿数》</p> <p>⇒ 35件 ① 大学のイベント情報 : 21件</p> <p> ② 受験案内 : 2件</p> <p> ③ ムーブマン・ネオの収録状況 : 12件</p>			

平成30年度大学リーグやまぐち主催事業・事業報告書

事項	県内進学促進			
事業名称	やまぐち学生サポート事業			
主催	大学リーグやまぐち (担当: 県学事文書課)			
担当者	(所属・職名) 県学事文書課 大学班 主査		(氏名) 加藤 進哉	
[連絡先]	083-933-2140		(E-mail: a10400@pref.yamaguchi.lg.jp)	
共催・後援等 (協力体制)	-			
事業の趣旨 ・目的等	県内事業所による料金割引などのサービスにより、県内大学生等を応援する取組を推進する。			
事業の内容	<p>1 事業の流れ</p> <p style="text-align: center;">①協賛事業所を募集 ②大学生等に広報 ③事業所に学生証を提示 ④サービスを利用</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p>2 サービス内容</p> <p>(1) サービス提供の対象者 県内の大学生、大学院生、留学生、専門学校生等</p> <p>(2) サービス設定例 ・料金の割引、無料サービス ・ポイント加算、サービス券提供</p> <p>(3) 協賛事業所を大学リーグやまぐちHPに掲載</p> <p>(4) 協賛事業所のメリット ・大学生等を応援する事業所としてのイメージアップ ・ステッカーの貼付やHP掲載によるPR</p> <p>3 協賛事業所の募集 学生等に対して、協賛事業所の募集の協力依頼</p>			
事業実施のための 必要経費	経費項目 (積算内訳含む)	員数	単価	金額
	ステッカー作成費 (250枚)			48,600
	計			48,600
実施結果	<p>【平成30年度の実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ チラシを作成し、企業等へのPRを各構成機関に依頼。 ○ 申込みのあった38店舗を大学リーグやまぐちのホームページに掲載。 			

平成30年度大学リーグやまぐち主催事業・事業報告書

事項	県内進学促進																							
事業名称	インフォメーションスタンドの活用																							
主催	大学リーグやまぐち (担当：県学事文書課)																							
担当者	(所属・職名) 県学事文書課 大学班 主査		(氏名) 加藤 進哉																					
[連絡先]	083-933-2140		(E-mail: a10400@pref.yamaguchi.lg.jp)																					
共催・後援等 (協力体制)	-																							
事業の趣旨 ・目的等	県内5箇所を設置した専用のインフォメーションスタンドを活用し、県内大学等の「魅力」や「特色」を発信する。																							
事業の内容	<p>1 配置場所・配架等</p> <p>① J R新山口駅構内 (H30.7月～)</p> <p>② J R山口駅構内</p> <p>③ ルルサス防府2階</p> <p>④ J R徳山駅構内</p> <p>⑤ シーモール下関</p>  <p>(J R徳山駅2階の様子)</p> <p>2 配架方法 各機関が直接配架又は管理担当機関へ送付し、管理担当機関が配架する。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>配置場所</th> <th>管理担当機関</th> <th colspan="2">送付先</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>J R新山口駅構内</td> <td rowspan="3">山口県 (学事文書課)</td> <td>〒753-8501</td> <td rowspan="3">山口市滝町1-1 山口県学事文書課大学班 TEL: 083-933-2140</td> </tr> <tr> <td>J R山口駅構内</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ルルサス防府</td> <td></td> </tr> <tr> <td>J R徳山駅構内</td> <td>徳山大学</td> <td>〒745-8566</td> <td>周南市学園台 徳山大学総務部 TEL: 0834-28-0411</td> </tr> <tr> <td>シーモール下関</td> <td>下関市立大学</td> <td>〒751-8510</td> <td>下関市大学町2-1-1 下関市立大学経営企画班 TEL: 083-254-8707</td> </tr> </tbody> </table>				配置場所	管理担当機関	送付先		J R新山口駅構内	山口県 (学事文書課)	〒753-8501	山口市滝町1-1 山口県学事文書課大学班 TEL: 083-933-2140	J R山口駅構内		ルルサス防府		J R徳山駅構内	徳山大学	〒745-8566	周南市学園台 徳山大学総務部 TEL: 0834-28-0411	シーモール下関	下関市立大学	〒751-8510	下関市大学町2-1-1 下関市立大学経営企画班 TEL: 083-254-8707
配置場所	管理担当機関	送付先																						
J R新山口駅構内	山口県 (学事文書課)	〒753-8501	山口市滝町1-1 山口県学事文書課大学班 TEL: 083-933-2140																					
J R山口駅構内																								
ルルサス防府																								
J R徳山駅構内	徳山大学	〒745-8566	周南市学園台 徳山大学総務部 TEL: 0834-28-0411																					
シーモール下関	下関市立大学	〒751-8510	下関市大学町2-1-1 下関市立大学経営企画班 TEL: 083-254-8707																					
事業実施のための 必要経費	経費項目 (積算内訳含む)	員数	単価	金額																				
	インフォメーションスタンド	1	45,792	45,792																				
	計			45,792																				
実施結果	<p>【平成30年度の実績】</p> <p>新たにJ R新山口駅にもインフォメーションスタンドを設置し、以下のとおり情報発信を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 大学リーグやまぐち事務局において、県内進学ガイドブック等を配架。 <ul style="list-style-type: none"> ・県内進学ガイドブック : 5箇所 約600冊配布 ・オープンキャンパスマップ : 5箇所 約400部配布 ○ 各構成機関により、大学案内、イベント及び公開講座等の周知に活用。 																							


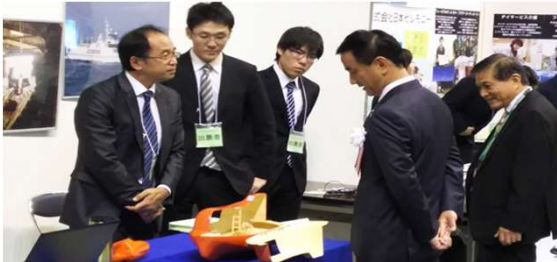
平成30年度大学リーグやまぐち主催事業・事業報告書

事項	県内進学促進																																						
事業名称	出前講義の実施																																						
主催	大学リーグやまぐち (担当：県学事文書課)																																						
担当者	(所属・職名) 県学事文書課 大学班 主査		(氏名) 加藤 進哉																																				
[連絡先]	083-933-2140		(E-mail: a10400@pref.yamaguchi.lg.jp)																																				
共催・後援等 (協力体制)	—																																						
事業の趣旨・目的等	大学の「特色」(取組や知見等)を高等学校等地域に発信することにより、地域における大学のプレゼンスや地域貢献力を高め、県内進学促進を図る。																																						
事業の内容	<p>○ 各大学が実施する出前講義を取りまとめ、県高校教育課と連携しながら、県内公私立高校に周知する。</p> <div style="text-align: center;"> <p>出前講義一覧</p> <table border="1" style="margin: auto; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="5">〇〇大学</th> </tr> <tr> <th>講座名称</th> <th>講座の概要</th> <th>講師名</th> <th>対象</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="5">○学部</td> </tr> <tr> <td>1 〇〇〇〇</td> <td>〇〇〇〇</td> <td>准教授 〇〇〇〇</td> <td>小中高</td> <td>PC持参、スクリーン必要 プロジェクター使用</td> </tr> <tr> <td>2 〇〇〇〇</td> <td>〇〇〇〇</td> <td>教授 〇〇〇〇</td> <td>高</td> <td>PC持参、スクリーン必要 プロジェクター使用</td> </tr> <tr> <td colspan="5">○学部</td> </tr> <tr> <td>1 〇〇〇〇</td> <td>〇〇〇〇</td> <td>准教授 〇〇〇〇</td> <td>中高</td> <td>プロジェクター使用</td> </tr> </tbody> </table> <p>● 問い合わせ先 〇〇〇〇 〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇 E-mail 〇〇〇〇@〇〇〇〇〇〇〇〇</p>  </div>				〇〇大学					講座名称	講座の概要	講師名	対象	備考	○学部					1 〇〇〇〇	〇〇〇〇	准教授 〇〇〇〇	小中高	PC持参、スクリーン必要 プロジェクター使用	2 〇〇〇〇	〇〇〇〇	教授 〇〇〇〇	高	PC持参、スクリーン必要 プロジェクター使用	○学部					1 〇〇〇〇	〇〇〇〇	准教授 〇〇〇〇	中高	プロジェクター使用
〇〇大学																																							
講座名称	講座の概要	講師名	対象	備考																																			
○学部																																							
1 〇〇〇〇	〇〇〇〇	准教授 〇〇〇〇	小中高	PC持参、スクリーン必要 プロジェクター使用																																			
2 〇〇〇〇	〇〇〇〇	教授 〇〇〇〇	高	PC持参、スクリーン必要 プロジェクター使用																																			
○学部																																							
1 〇〇〇〇	〇〇〇〇	准教授 〇〇〇〇	中高	プロジェクター使用																																			
事業実施のための 必要経費	経費項目 (積算内訳含む)	員数	単価	金額																																			
	—	—	—	—																																			
	計				0																																		
実施結果	<p>【平成30年度の実績】</p> <p>《講義数》 講座数： 783講座 (前年度比+29講座)</p> <p>講義実施数： 262講義 (前年度比▲41講義)</p>																																						

平成30年度大学リーグやまぐち主催事業・事業報告書

事項	県内進学促進			
事業名称	ムーブマン・ネオとの連携			
主催	ムーブマン・ネオ（担当：県学事文書課）			
担当者	（所属・職名） 県学事文書課 大学班 主査		（氏名） 加藤 進哉	
[連絡先]	083-933-2140		(E-mail: a10400@pref.yamaguchi.lg.jp)	
共催・後援等 （協力体制）	—			
事業の趣旨 ・目的等	大学生等が山口県を活性化するアイデアを出し合うディスカッション番組である「ムーブマン・ネオ」と連携し、高校生等に対し、学生を通じた山口県や大学等のPRを行い、県内進学促進を図る。			
事業の内容	<p>○ ムーブマン・ネオと連携し、番組の収録状況を広報するとともに、事務局において、収録等に係る各大学との連絡調整を実施する。</p> <p>《ムーブマン・ネオ概要》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 番組タイトル 山口県くすぐりプロジェクト「ムーブマン・ネオ」 2 メインテーマ 山口県をもっと面白く！ 3 内容 <ul style="list-style-type: none"> ・大学生等が、県活性化のアイデアを出し合うディスカッション番組 ・優秀かつ魅力的なアイデアについては、実現化や商品化を目指す 4 放送及び配信 <ul style="list-style-type: none"> ・t y s テレビ山口：月1回放送 毎月第4土曜日 18:55～19:00 ・番組ホームページにて放送後に配信（ダイジェスト版含む） ・ホームページには様々な情報を網羅 URL: mouvement-neo.jp 			
事業実施のための 必要経費	経費項目（積算内訳含む）	員数	単価	金額
	—	—	—	—
	計			
実施結果	<p>【平成30年度の実績】</p> <p>《収録校》 13校 宇部工業高等専門学校、放送大学、大島商船高等専門学校、東亜大学、 徳山工業高等専門学校、山口学芸大学、山陽小野田市立山口東京理科大学、 梅光学院大学、山口短期大学、山口県立大学、至誠館大学、宇部フロンティア大学、 山口芸術短期大学</p>			

平成30年度大学リーグやまぐち主催事業・事業報告書

事項	県内就職の促進			
事業名称	山口きらめき企業の魅力発見フェアとの連携			
主催	山口きらめき企業の魅力発見フェア2018実行委員会（担当：山口大学、県学事文書課等）			
担当者	（所属・職名） 県学事文書課 大学班 主査		（氏名）加藤 進哉	
[連絡先]	083-933-2140		（E-mail: a10400@pref.yamaguchi.lg.jp）	
共催・後援等 （協力体制）	（実行委員会構成員）①山口大学、②山口県立大学、③徳山大学、④経営者協会、 ⑤山口労働局、⑥山口しごとセンター、⑦やまぐち産業振興財団、 ⑧山口県			
事業の趣旨 ・目的等	大学生等に対して企業や自治体の仕事等の魅力を発信し、県内企業等の認知度向上を図るとともに、若者の地元企業等への就職・県内定着の促進等につなげる。			
事業の内容	COCプラスと連携し、ホームページやSNS等を活用した広報等を実施する。			
事業実施のための 必要経費	経費項目（積算内訳含む）	員数	単価	金額
	—	—	—	—
	計			—
実施結果	<p>【平成30年度の実績】</p> <p>《開催日時等》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日 時：平成30年11月3日（土） 10:00～16:00 ・場 所：維新百年記念公園 スポーツ・文化センター ・参加者数：大学生等 1,518人 ・出展企業数等：84団体（企業：76社、自治体：8団体） <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>			

平成30年度大学リーグやまぐち主催事業・事業報告書

事項	大学の魅力や地域貢献力の向上			
事業名称	地域や企業との連携促進			
主催	大学リーグやまぐち (担当：県学事文書課)			
担当者	(所属・職名) 県学事文書課 大学班 主査	(氏名) 加藤 進哉		
[連絡先]	083-933-2140	(E-mail: a10400@pref.yamaguchi.lg.jp)		
共催・後援等 (協力体制)	-			
事業の趣旨・目的等	「大学リーグやまぐち」を中心に、学生のアイデアや大学の研究機能等を活用した地域や企業との連携促進を図り、その成果を広くアピールすることにより、進学・就職両面からの県内定着を促進する。			
事業の内容	<p>1 スキーム図</p>			
	<p>2 事業内容</p> <p>事務局が、企業等のニーズ・大学のシーズの把握や課題解決に向けたコーディネート等を行い、関係大学に提案等を行う。</p>			
事業実施のための必要経費	経費項目 (積算内訳含む)	員数	単価	金額
	-	-	-	-
	計			-
実施結果	<p>【平成30年度の実績】</p> <ol style="list-style-type: none"> 大学のシーズ等の把握 <ul style="list-style-type: none"> ○ 大学（既作成分を含む。）の研究シーズ等を整理 企業訪問等 <ul style="list-style-type: none"> ○ 産業戦略部カンファレンスチームの企業訪問に同行し、大学の研究シーズを売り込むとともに、企業ニーズを把握 ○ 事務局及び大学において、個々の企業等に対して研究シーズの売込みを実施 ○ 山口県経営者協会から、会員企業に対して取組を周知 学内コーディネーターの配置 <ul style="list-style-type: none"> ○ 各大学に学内コーディネーターの配置を依頼 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ○ 上記の取組を踏まえ、課題等を整理 ○ 令和元年度において取組の拡大を図るため、県において統括コーディネーターの配置等に係る予算を措置 </div>			

平成30年度大学リーグやまぐち主催事業・事業報告書

事項	FD			
事業名称	FD研修会（全学FD・SD講演会）			
主催	山口大学大学教育機構			
担当者	（所属・職名）教育支援課教育企画係長		（氏名）野村 治宣	
[連絡先]	(TEL: 083-933-5150) (FAX: 083-933-5225)		(E-mail: ga115@yamaguchi-u.ac.jp)	
共催・後援等 （協力体制）	—			
事業の趣旨 ・目的等	<p>昨今の大学では地域活性化に対応できる人材育成を目指す「地域創生」や、グローバル社会に対応できる人材育成を目指す「多文化共生」といった言葉で示される大学改革が進行しています。山口大学でも「ダイバーシティ・キャンパス」の実現を目指しています。この動きを受ける形で大学教育もアクティブ・ラーニング、反転授業、クォーター制、英語による授業等々、様々な教育改革が行われています。これらの一連の教育改革は多様な人々の大学教育への参画を促しているといえます。その一方で、ディスカッションに参加できない、人とのコミュニケーションが苦手とする学生たちの存在や留学生や社会人が参加しにくい等のさまざまな社会的障壁が顕在化しています。そこで、本年度の全学FD・SD講演会では、留学生、社会人、地域住民、障害のある(疑われる)学生といった多様な人たちが 大学教育へのアクセスをしやすいようにするためには大学はどこをどのように改善すべきかについて学内外の有識者を招聘し協議します。</p>			
事業の内容	<p>講演テーマ:「大学教育とアクセシビリティー多様な人々の大学教育へのアクセシビリティを考えるー」 講師: 広島大学アクセシビリティセンター 山本 幹雄 准教授 日 時: 2018年8月8日(水) 13:30~16:30</p>			
事業実施のための 必要経費	経費項目（積算内訳含む）	員数	単価	金額
	講師謝金(広島大学 山本幹雄准教授)	1	12,916	12,916
	計			12,916
実施結果	<p>【参加者数】109名 （内訳）山口大学70名、山口学芸大学10名、東亜大学4名、至誠館大学12名、水産大学校13名</p> <p>【実施報告】 2018年8月8日（水）に、全学FD・SD講演会を開催し、2部構成で行われた。第1部では「大学教育とアクセシビリティ」というテーマで山本准教授から「アクセシビリティ」とは、何かがあるが何かにアクセスする際の「アクセスのしやすさ」を表す言葉であることが示された。近年、多様な人々が大学教育を利用する機会が増えているが、その際にアクセスのしやすさという観点から大学教育を考えることの重要性が指摘された。また、大学でアクセシビリティを推進する理由として「法律的」、「モラル的」、「教育的」理由が考えられるが、法律的理由としては、差別解消法への対応、モラル的理由としては学習機会の公平性、教育的理由としては多様な学生の修学や教育資源の開発といった教育の改善等の理由が考えられるという。</p> <p>第2部では、最初にダイバーシティ推進室室長の鍋山祥子副学長から山口大学におけるダイバーシティ推進室の取り組みについて紹介があった。推進室では2025年度を目標にダイバーシティ・キャンパスの実現に向けて、「意識改革」、「制度設計」、「ワークライフバランス支援」、「研究力向上支援」、「ネットワーク構築」に取り組んでいる。また、数値目標を立てて、ジェンダー・ダイバーシティにも取り組んでいるようだ。国際総合科学部のレール・マルク教授からは、国際総合科学部の留学の送り出しと受け入れの現状について説明があった。地域連携関係の天本係長からは公開講座や開放授業などを通して大学と地域との交流が行われている様子が報告された。SSRの岡田菜穂子講師からは、山口大学における障害学生支援の現状とSSRの取り組みについて報告された。</p> <p>全体討論では、学生や教職員の多様性を高めるためには、キャンパス内ですでに多様な人々がいることや自分にも関係していること（「自分事（コト）」）であるという意識付けすることが重要であるという指摘があった。</p>			

平成30年度大学リーグやまぐち主催事業・事業報告書

事項	S D			
事業名称	大学マネジメントセミナー2018 in やまぐち			
主催	山口大学			
担当者	(所属・職名)山口大学大学教育機構・准教授 (氏名)林 透			
[連絡先]	(Tel:083-933-5067) (E-mail: toru-h@yamaguchi-u.ac.jp)			
共催・後援等 (協力体制)	共催：大学マネジメント研究会、大学行政管理学会中国・四国地区研究会			
事業の趣旨 ・目的等	<p>平成25年度から実施してきた大学リーグやまぐちSDセミナーについて、大学経営における教職協働の重要性が一層増すことから、平成29年度からは、「大学マネジメントセミナーinやまぐち」と改称して、内容の充実を図って実施した。大学経営に携わる教員・職員の立場からの基調講演、さらには、大学リーグやまぐち加盟機関の教職員によるポスターセッションを行い、平成28年度に新しく結成された大学リーグやまぐち加盟機関の相互交流を深め、当該地域の高等教育機関が抱える諸課題を共有し、課題解決のための新たな方策や気付きを得る機会となった。</p> <p>平成30年度は、前年度の実施実績を踏まえながら、今後ますます厳しさが必至である大学経営の可視化や説明責任をテーマとする。大学経営や大学評価に関する専門家を招へいた基調講演を行うほか、学生やステークホルダーを意識した大学づくりに関する意見交換・ミニワークを行い、やまぐち地域が抱える高等教育機関共通のテーマについて理解を深めるとともに、大学教職員の人的ネットワークの充実を図りたい。</p>			
事業の内容	<p>テーマ：「地方大学の魅力発信と大学間連携 Part2～新しい時代における大学マネジメント～」</p> <p>内 容：(1)基調講演「輝け大学、輝け！ 大学人」 沖縄科学技術大学院大学副学長(財務担当) 高梨 桂治 氏 (元・福井大学理事・副学長)</p> <p>(2)基調講演「大学人としての『生きがい』『やりがい』とは」 梅光学院大学副学長(教学担当) 各務 正 氏 (元・順天堂大学・部長)</p> <p>(3)シンク・ペア・シェア(意見交換・全体共有)</p> <p>主 催：大学リーグやまぐち・国立大学法人山口大学 共 催：大学マネジメント研究会、大学行政管理学会中国・四国地区研究会 日 時：2018年12月17日(月) 14:30～16:30</p>			
事業実施のための 必要経費	経費項目(積算内訳含む)	員数	単価	金額
	講師講演謝金(沖縄科学技術大学院大学 高梨 桂治副学長)	1	14,792	14,792
	講師旅費：沖縄	1	76,160	76,160
	計			90,952
実施結果	<p>【参加者数】91名 (内訳)山口大学67名、山口県立大学1名、下関市立大学1名、山口東京理科大学5名、徳山大学5名、梅光学院大学4名、山口学芸大学・芸術短期大学2名、山口県1名、その他5名</p> <p>【実施報告】 2018年12月17日(月)に、大学リーグやまぐち・山口大学主催 大学マネジメントセミナー2018 in やまぐち『地方大学の魅力発信と大学間連携 Part2 ～新しい時代における大学マネジメント～』を、学内外から91名(学内67名、学外24名)の参加者を集め、吉田キャンパスにて開催した。本セミナーは、大学リーグやまぐち、山口大学の共同主催、大学マネジメント研究会、大学行政管理学会中国・四国地区研究会の共催で、山口大学・大学教育再生加速プログラム(YU-AP)における教学マネジメント強化のための研修の一環として実施された。</p> <p>基調講演では、まず、高梨桂治 沖縄科学技術大学院大学副学長(財務担当)より、「輝け大学、輝け！ 大学人」と題して講演があった。世界大競争時代である21世紀における日本の大学の役割について経済学の視点を交えながら説明があり、これからの時代は新たな価値を創造する人材が必要であり、そのために、大学は新たな価値を創造する「成長エンジン」製造工場にならないといけなと力説された。さらに、データから見る日本の大学の現状として、大学に投じられている国家予算の少なさや海外との研究資金規模の格差などを紹介しながら、今日の大学が国家や社会から信頼を得られない悪循環を引き起こしており、今後の大学にとっては、如何に学生をもっと知的に鍛えるかが信頼性獲得のカギになると指摘された。大学は従来の「コストセンター」から「バリューセンター」に転換する必要があると指摘された。最後に、これからの大学職員の果たすべき役割と大学職員への期待として、大学教員と切磋琢磨しながら、大学経営や大学教育の本質を見極め、質を高めることに貢献できる人材になってほしいとエールを送られた。国内外の情勢を踏まえながら、大学が、大学職員が何をすべきかを明確に指摘され、参加者にとって示唆に富む講演であった。</p> <p>次に、各務 正 梅光学院大学副学長(教学担当)より、「大学人としての『生きがい』『やりがい』とは」と題して講演があった。冒頭、『生きがい』『やりがい』という、個々人の自己満足と表裏一体のところがあり、その点を踏まえながら、自分自身のこれまでの大学人としてのポートフォリオを披露するようにお話したいとの前置きがあった。順天堂大学時代に、医学部教員から医学教育改革をせよとの指令があり、当該学部のミッションづくりをした経験が披露された。この経験を経て、入学定員増や国家試験合格率アップ、さらには大学院教育改革の施策に携わるようになった。授業風景が荒んでいる時代に、そこで学んでいる学生のモチベーションは大学マターなのか、学生個人マターなのかを考えるようになったという話があった。大学人として、それぞれの役割があり、その枠を自覚しながら、一人一人のガバナンスをできることが大切だと力説されました。最後に、「Ability to Inspire Others」という言葉を提示し、如何に人を動かすことができるかが大事であり、その中でアウトカムを生み出す人材になってほしいとエールを送られた。長年のキャリアを踏まえながら、大学人としてあるべき生き方や考え方を参加者に訴えかける講演となった。</p> <p>後半では、林 透 大学教育センター准教授の全体進行のもと、シンク・ペア・シェアという手法で、講師2名の基調講演について、まずは個人での振り返りを踏まえながら、ペアワークで対話した後、講師との質疑応答を通して全体共有を行った。</p>			

平成30年度大学リーグやまぐち主催事業・事業報告書

事項	ML連携			
事業名称	山口県大学ML（博物館・図書館）連携特別展			
主催	山口県大学ML連携事業事務局			
担当者	（所属・職名）山口大学情報環境部学術情報課 副課長		（氏名）永久 英雄	
[連絡先]	（所属・職名）山口大学情報環境部学術情報課企画連携係 主任		（氏名）川上 誠	
	TEL : 083-933-5181 FAX : 083-933-5171 (E-mail: li322@yamaguchi-u.ac.jp)			
共催・後援等 （協力体制）	共催:山口県大学図書館協議会・大学リーグやまぐち 後援:大学博物館等協議会・山口県博物館協会・山口県図書館協会			
事業の趣旨 ・目的等	<p>山口県大学ML(ミュージアム・ライブラリー)連携事業として、平成23年度から継続して連携特別展を開催している。この事業は、各大学が所蔵する学術資料や各大学の研究成果をもとに展示活動を実施し、大学のブランディング及び地域への大学の説明責任の一端を果たすとともに、大学連携並びに地域貢献事業として位置付けている。</p> <p>この事業は継続することが重要であり、毎年度一定のテーマを定めて特別展を実施し、平成29年度は5年目を迎え、山口県立山口博物館で13大学17館で合同展、併せて山口県立山口図書館でシンポジウムを開催した。</p>			
事業の内容	<p>平成30年度山口県大学ML連携事業では、合同展示から、各大学での連携開催の形式に戻り開催期間を定め、各大学において資料展示等を計画する。</p> <p>開催期間は、10月～1月とし、各大学の実施可能期間(最短でも2ヶ月間)にそれぞれ実施する。また、地域の方々等の来館者数の増加を図るため、広報活動を拡充するとともに、実施期間中の各会場でスタンプラリーを実施し、一定のスタンプを取得された方には、記念品等を贈呈する。</p>			
事業実施のための 必要経費	経費項目（積算内訳含む）	員数	単価	金額
	ポスター作成費	300部	70.00	21,000
	チラシ作成費	5,000部	11.0	55,000
	ポストカード作成費	3,200枚		20,000
	実績報告書作成費	1,000部	51	51,000
	計			147,000
（うち大学リーグやまぐち負担分）			127,000	
実施結果	<p>平成30年度は、共通テーマを『ひらく』とし、県内13大学17館の参加のもと、各館において2018年10月～2019年1月末日の期間内で参加各館が個別にテーマを設定し、企画展示を実施した。会場によっては見学者数が測定できない館もあるが、各館で計測できた範囲での見学者数は合計約1,200名であった。</p> <p>また、関連事業としてスタンプラリーを実施し、一定観覧数を達成したスタンプラリー参加者に景品の配布を行った。</p>			

平成30年度大学リーグやまぐち主催事業・事業報告書

事項	大学の魅力や地域貢献力の向上			
事業名称	「夏休みこども塾」の開催			
主催	大学リーグやまぐち (担当：県学事文書課)			
担当者	(所属・職名) 県学事文書課 大学班 主査	(氏名) 加藤 進哉		
[連絡先]	083-933-2140	(E-mail: a10400@pref.yamaguchi.lg.jp)		
共催・後援等 (協力体制)	—			
事業の趣旨 ・目的等	県内小学校等を対象に「夏休みこども塾」を開催し、地域における大学の存在感や地域貢献力の向上を図る。			
事業の内容	<p>1 概要 各大学が「夏休みこども塾」を開催し、その状況をホームページやSNSを活用して広報を行う。</p> <p>2 対象者 小・中学生等</p>			
事業実施のための 必要経費	経費項目 (積算内訳含む)	員数	単価	金額
	—	—	—	—
	計			—
実施結果	<p>【平成30年度の実績】</p> <p>○ 事業内容をHPで紹介：5大学 8件</p> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>			